

居場所  
中部  
静岡市シニアライフ支援センター  
“くれば”中高年が社会参加するために、  
「仕組み」「仕掛け」「居場所」を提供

豊かな高齢社会の実現を目指し、まわりの人を巻き込みながらハッピーなシニアライフを提案したいというミッションを掲げているNPO法人静岡団塊創業塾では、平成26年3月に静岡市中心部に「シニアライフ支援センター“くれば”」を開設。平日に行っているミニセミナーやイベント、月1回開催するランチ会など、人が集い、つながる機会を提供しています。参加者には他県他市から静岡市やその近郊に移住してきたという中高年も珍しくありません。新しい土地で、新しい友達を作ろうとした時、「ここで、少しずつ話しをして、ゆっくりつながっていくことができれば」と代表の原田さんは言います。熟年世代の“部活動”のような活気に満ちた居場所です。

## ここに注目!!

毎月第4土曜日は「定期交流会」を行い、後半は歌声喫茶となります。月に一度「ランチ会」や「持ち寄りパーティー」も実施しています。写真は歌声喫茶の風景



日本技術士会静岡県支部の会員さんが講師を務める「テクノロジーカフェ」。身近な技術の話が聞けて、男性に人気です。



シニアの部活として始めたシニア劇団「くれば座」は、行政、社協のイベントやSPAC県民月間等で公演しています。

## DATA

☎(054)252-8018

静岡市葵区岡替町2-3-6

FAX/054-252-8018  
URL/https://www.dankai.org/  
E-mail/welcome@dankai.org  
開設時間/火~土曜日 13:00~17:00  
休館日/日、月、祝日

\*連休設定日(年始年末、お盆休み以外にもGW等に休みを設定)

アクセス/JR静岡駅北口から徒歩10分

駐車場/無(近隣の有料駐車場利用)

運営主体/NPO法人静岡団塊創業塾

代表者/原田和正(理事長)

\*視察は事前の電話連絡必要



## 開設のきっかけキーワード

- ◆豊かな高齢社会の実現
- ◆ハッピーなシニアライフ
- ◆街の中心部での活動
- ◆移住者、友達づくり
- ◆熟年世代の部活動

居場所  
中部  
静岡市

## 神社カフェ・野ばら

“一人じゃないよ”をモットーに  
生活支援活動からスタートした居場所

神社境内にある老人集いの家を会場にしている居場所は、町内で長年、民生委員をしてきた森本襟子さんが中心となり立ち上げたボランティア団体「野ばらの会」が運営。平成30年の立ち上げ当初は高齢者世帯のゴミ出しや見守り等の生活支援からのスタートでしたが、「今、求められているのは居場所」だと気づき、地区社協や自治会等とも連携して週1回の居場所を平成31年4月に開設。自然発生的にファンが増えたトランプなどのゲームや、男性陣から要望のあった健康マージャンなど、利用者の意見を取り入れて開催している。昼には近所のスーパーでお弁当を購入し皆で食べたり、夏場は木漏れ日が心地よい境内でおしゃべりをしたり。「一人じゃないよ」をモットーに、ご近所付き合いの延長にあるような居場所になっています。

## ここに注目!!



10畳の和室を二部屋続きで使用。健康マージャンは男性陣に人気。



会場は神社境内の老人集いの家。1か月(4回)で平均50名前後の利用がある。



代表の森本襟子さんとボランティアの松田さく江さん。16名のボランティアは全員女性。

## DATA

☎(054)282-3221  
(森本)

静岡市駿河区宮本町9-3

神明神社境内 老人集いの家

開設時間/9:30~15:30(木曜日開設)

\*1クール2時間×3(9:30~11:30、

11:30~13:30、13:30~15:30)

参加費/1クール2時間毎100円(茶集代)

アクセス/JR静岡駅より静岡鉄道バス、大浜

麻機線徳洲会行、「中原」下車徒歩5分

駐車場/無

運営主体/大里西地区社会福祉協議会

代表者/森本襟子

\*視察は事前の電話連絡必要



## 開設のきっかけキーワード

- ◆生活支援活動
- ◆老人集いの家
- ◆自治会、地区社協
- ◆昼食をスーパーで購入し皆でランチ

居場所  
中部  
静岡市

## 交流の場 なごみ

ちょっとしたおしゃべりが健康の源  
市営団地の中の交流の場

昭和30年代に建てられた市営有明団地。現在、400世帯が暮らす団地の高齢化率は70%。高齢化が目立ち始めた平成20年、孤立を防ごうと茶話会を団地集会所でスタート。その後、耐震工事の際に住民が集える場を作ってみてはとの打診が静岡市からあり、団地自治会も歓迎。住民や市と協議を重ね、平成27年4月に「交流の場なごみ」開設。場所は1階の店舗跡を活用し、20数名登録があるシニアボランティアが交代で当番。ボランティアの3分の1は男性で、自分の当番の日を待ちきれずにやって来る人も多いという。部屋はそう広くないため、おしゃべりが活動の中心。多い日には一日で12~13名の訪問がある。包括支援センターや地区社協のスタッフも立ち寄り、定期的に生活相談会を実施。平成29年12月からは住民同士の支え合い活動「有明応援団」の事務局の役目も果たしている。

## ここに注目!!



団地1階は店舗スペース。空き店舗を活用した居場所。軒先にもテーブルを置き、おしゃべりの場に。



まるいテーブルでおしゃべり。折り紙や手芸など簡単な製作をすることも。



交流のある近隣学校の児童・生徒からのプレゼント。居場所の前には芝生広場があるので、子ども連れも気軽に訪ねて欲しいそう。

## DATA

☎054(204)5566

静岡市駿河区有明町10-6

有東団地12号棟

FAX/054-204-5566

開設時間/月~金曜日 10:00~16:00

(12:00~13:00お休み)

アクセス/JR静岡駅よりバス県立病院高松線、

登呂コープタウン行き、

「有明町南バス停」下車、徒歩3分

駐車場/有

運営主体/有明二区自治会

代表者/櫻井久也

\*視察は事前の電話連絡必要



## 開設のきっかけキーワード

- ◆公営団地
- ◆目立つ高齢化、単身世帯増加
- ◆耐震化工事
- ◆支え合い活動の拠点

居場所  
中部  
島田市

## サヨばあちゃんの休憩所

山里の小さな駅舎が居場所  
“食”と“おしゃべり”の力で高齢者を元気に

20年間にわたって地元の高齢者に手作りのお弁当や惣菜を届け、見守りを続けてきた島田市川根町の諸田サヨさん。そのきっかけは本当にちょっとした思いつきでした。「ちょうど私が定年した頃のこと。ご近所に高齢者が増えてきて買い物やご飯づくりに不便されているのを知り、“うちの惣菜を多目に作って届けよう”と始めました」と話します。地域の仲間呼びかけ配達をスタート。その後、無人駅となった駅舎を借りて厨房に。島田市からの委託を受けてお弁当の配食をするようになりました。平成23年に放送されたテレビ番組を見てサヨさんのことを知った人が駅舎を訪れるようになり、待合室を居場所に改装。平成25年からは「サヨばあちゃんの休憩所」として開放。地域の人はもちろん、全国各地からサヨさんに会いに抜里駅を訪れます。平成28年4月1日諸田サヨさんが大井川鐵道抜里駅名誉駅長に就任しました。

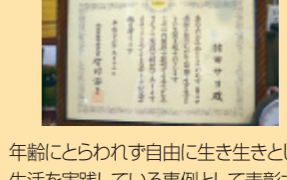
## ここに注目!!



朝5時過ぎから準備。そう広くはない厨房ながらも、サヨさんはじめベテラン主婦の皆さんが手際よく調理をしている。



居場所は土曜・日曜にオープン。運が良いとワンコイン500円でランチがいただけます。落花生を使った抜里独特の煮豆など素朴な郷土料理も並びます。



年齢にとらわれず自由に生き生きとした生活を実践している事例として表彰される「エイジレス・ライフ実践事例」や平成26年度熟年メッセージ大会(しずおか健康長寿財団主催)でグランプリを受賞。

## DATA

☎非公表

島田市川根町抜里

(大井川鐵道 抜里駅)

開設時間/土曜・日曜(ランチは11:30~)

アクセス/大井川鐵道抜里駅

駐車場/有

運営主体/妻の会

代表者/諸田サヨ

\*視察は多数の場合事前の電話連絡必要

054-221-2975(静岡県庁長寿政策課)

Facebookページあります

\*ご予約等はFBからご連絡下さい



## 開設のきっかけキーワード

- ◆高齢世帯へ手作り弁当をお届け
- ◆見守り
- ◆無人駅、駅舎の活用